

広島県聴覚障害者センターだより

H C C

Hiroshima Chosho Center

広島県聴覚障害者センター

〒734-0007 広島市南区皆実町1丁目 6-29

ホームページ: [https:// hiro-chokaku.jp](https://hiro-chokaku.jp)

電話: 082-254-0085

FAX: 082-254-0087

メール: minami@hiro-chokaku.jp



2026年2月号

No.104 2026(令和8)年2月1日発行(毎月1日発行)

☆広島県立広島南特別支援学校の高校生が聴障センターに来られました！☆

1月22日(木)に高校3年生6名、高等部教諭3名が聴障センターの見学に来てくださいました。

見学では広島県難聴者・中途失聴者支援協会、広島県ろうあ連盟、制作室(字幕・手話を挿入したDVDを製作しています)相談室①②、多目的室(ご希望の方に聴力測定を行う)運営事務室(代理電話、電話リレーサービス、災害時の情報提供拠点)などを見学し、それぞれの雰囲気の違いを感じていただきました。

次は手話通訳派遣の利用のし方・聴覚障害者が運転免許を取得する際の助成金を説明しました。

日常生活用具は朝の起床(光や振動で知らせる目覚まし時計)、インターホン(フラッシュライトで通知する機器)などを体験してもらいました。1時間程度の短い時間での見学で熱心に話を聞き、積極的に質問もされていたので、興味を持ってもらえたと思っています。

高校生のみなさんが望む未来へまっすぐ進めるようにこれからも応援しています。(芳川)



日常生活用具

～令和7年度 派遣事業・派遣ネットワーク事業コーディネート研修会～

この研修会は、市町等の派遣事業担当職員と調整担当者が参加し、当事者の声を反映した地域格差の無い、よりよい派遣調整を行うための研修及び情報交換等を目的として毎年開催されています。参加団体からの報告をご紹介します。

令和7年度要約筆記者養成・派遣事業に係る市町担当者会議を1月28日に県庁で開催しました。はじめに広島県からアンケート結果の報告がありました。続いて当事者から、要約筆記や手話通訳などの情報保障が行われることで行事等への参加がしやすくなる一方、場面によっては十分に行き届いていない現状があることや、今後の人材確保・育成、関係機関との連携の重要性について意見が共有されました。その後、参加者は3グループに分かれ、緊急時対応、派遣状況、研修、人材育成、機材整備、ICT活用等について意見交換を行いました。最後に、各グループでの話し合い内容を全体で共有し、本会議で得られた当事者の声や現場の意見を、今後の取組の参考としていくことを確認しました。
(NPO法人 広島県難聴者・中途失聴者支援協会)

1月28日に県内15市町、広島県ろうあ連盟、広島県合わせて49名が参加し、令和7年度手話通訳者派遣事業・派遣ネットワーク事業コーディネート研修会を行いました。前半は、広島県からのアンケート結果の報告後、手話言語条例制定後の各市町の取組みや、手話の普及啓発に係るボランティア団体の活動について情報交換をし、続いて当事者から、災害時の情報取得手段のひとつでもあるアイドラゴン4(目で聴くテレビ)の市町への設置や、市町及び県の手話通訳者派遣状況や養成研修情報を一元化できる「手話通訳者派遣・養成システム」導入等について提案がありました。後半は、当事者も交えて4グループに分かれ、通訳謝金及び交通費の地域格差、派遣で悩んだことなどについて意見交換をしました。県内各地から派遣事業に携わる職員が一堂に会し、当事者と共に考えることのできた有意義な研修会でした。
(広島県聴覚障害者センター)